

## 全国青年部第23回定期総会



建交労中央本部にて  
オンライン併用開催

建交労全国青年部は2021年12月5日、第23回総会を開催し、会場とオンライン合わせて22名の青年が参加しました。

総会に先立ち、広島県労働者学習協議会の二見伸吾さんを講師にお招きし、『労働時間と「休み」について考える』をテーマに学習会を行いました。学習会では、諸外国と日本の休みの取り方や労働時間の違い、非正規・ジェンダー問題、労働組合の役割、さらには建交労の前身のひとつである全日自労の先輩方が取り組んで来た組合活動の紹介など、様々なお話を聞くことができました。

質疑応答での「労働時間を短縮したくても、残業代で稼いでいる青年もいる。どうたたかっていけばいいか？」という質問には、「非正規を含めて、8時間働けば生きていける賃金が必要。労働時間の短縮と賃上げはセット。労働者の賃金が上がれば休みが増えることは、社会経済にとってマイナスではない」とお答えいただきました。



↑<sup>ふたみしんご</sup>二見伸吾さん (広島県労働者学習協議会)

おすすめ映画として紹介されていた『バレードへようこそ』、炭鉱労働者のストライキに対してゲイの方々が支援をしようと奮闘するストーリーだそうです。面白そう！

続く分散会では3つのグループに分かれ、自己紹介や学習会の感想・休みの現状などの意見交流を行いました。「休みと賃金と両立が大切だと思った」「休みを取るという文化が根付いていく必要があると思った」「ヨーロッパのバカンスは労働運動で勝ち取ったものだということを学び、休みを要求にしてもいいんだということが分かった」など、活発な交流が行われました。

全体討論では、参加者全員から各地の青年部のとりくみや職場の状況報告などがされました。「コロナの影響もあり青年部の活動が全くできていないが、組織強化に重点をおいてチラシ配布などを行っている」「21春闘で青年独自の要求としてリフレッシュ休暇と誕生日休暇を要求した。また、独自アンケートの実施を行った」「オンラインでの交流会などを行った。交流の機会が減っているので、来年の課題」などの発言がありました。



↑最後は会場とオンラインのみんなで、団結ガンバロー！

みなさま、ご参加ありがとうございました！

●参加地域・支部（数字は人数）

北海道 2、神田支部 4、東京 4、長野 2、愛知 1、近物レックス支部 2、関西支部 4、徳島 1、広島 1、長崎 1

## 2021年度スローガン

**共に行こう！憲法が生きる平和な未来へ**  
 ~だから僕らで作り出すストーリーライン  
**Here we go 全国青年部~**

**藤川さん**

**ありがとうございました！**

全国青年部前部長・藤川さんが退任となりました。いつも青年部の中心にいた頼もしい存在がいなくなってしまうのは大変寂しく心細いですが、熱い想いを引き継いで、新体制でもがんばっていききたいと思います。



←藤川拓さん（右）と  
新部長の鈴木互さん（左）

### 参加者のみなさまの感想より

- ・日本人は休むことに罪悪感を感じることがありますが、休むことでリフレッシュできたり、経済効果が生まれることなどのメリットもあるので、国全体として休むことを奨励することができたらと感じました。
- ・違う職種の方と仕事について話す機会は組合でしかないの、貴重な時間だと思っています。
- ・なごやかな雰囲気よかったです。
- ・分散交流もオンラインで行えたのはすごくよかったです。今度は対面で行いたいですね。

### 2021年度役員

■部長	鈴木 互
■副部長	秋山 哉保
	鈴木 美夏
	山内 理恵
■事務局長	武田 喜成
■委員	杉本 新海（新）

また1年、  
よろしくお願  
い  
します！